

【第5学年及び第6学年 目標】		学習指導要領との関連				東京都小学校音楽教育研究会 山の手Bゾーン大会 公開授業 第6学年「わたしたちの『このみち』を表現しよう」 中央区立京橋築地小学校 主任教諭 上出 奈央				
学 期	◎題材名（時数） 主な教材 ○歌唱 ●器楽 □音楽づくり □鑑賞（共） 共通教材	題材の目標			(1) 歌唱 アイウ(ア)(イ)(ウ)	(2) 器楽 アイウ(ア)(イ)(ウ)	(3) 音楽づくり アイウ(ア)(イ)(ウ)	【共通事項】 ア★音楽を特徴付ける要素 ☆音楽の仕組み イ音符、休符、記号や用語		
		主な学習内容								
		A 表 現	B 鑑 賞							
1 学 期	◎歌声をひびかせて 心をつなげよう（8） ○ペガサス ○おぼろ月夜（共）	(1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成 (3) 学びに向かう力・人間性等の涵養								
16		(1) 曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な歌唱の技能を身に付ける。 (2) 音色、速度、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。	アイウ(ア)(イ)(ウ)				ア★音色、速度、旋律 強弱、フレーズ イ 速度記号	①曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解している。（知：歌） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌）	①音色、速度、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌） ②音色、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。（歌）	◆視点3に 関わる事項 ①曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら表現を工夫する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、友達と声を合わせて歌うことを楽しむ態度を養う。
16	◎いろいろな音のひびきを 味わおう（8） ○木星 ●ラバーズ コンチェルト □ボイスアンサンブル	(1) 曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わり、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり、いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、器楽の技能や、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音色、リズム、旋律、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) いろいろな音色が重なって生まれる響きを味わいながら聴いたり表現したりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組み、様々な楽器の音色やオーケストラの響き、声の響きに親しむ。	アイウ(ア)(イ)(ウ)	アイウ(ア)(イ)(ウ)	アイウ(ア)(イ)(ウ)	ア★音色、リズム、旋律 音の重なり ☆反復、変化 音楽の縦と横との 関係	①曲想及びその変化と、音色などの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：鑑） ②曲想と音色などの音楽の構造との関わりや、多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解している。（知：器） ③思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ④いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴や、音のつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。（知：づ） ⑤思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくる。（技：づ）	①音色、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。（鑑） ②音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。（器） ③音色、リズム、音の重なり、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。（づ）	①いろいろな音色が重なって生まれる響きを味わいながら聴いたり表現したりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や音楽づくり、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（器・づ・鑑）	
2 学 期	◎和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう（8） ○星の世界 ●雨のうた □『雨のうた』の和音で旋律づくり	(1) 曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わり、音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、音色や響きに気を付けて、旋律楽器を演奏する技能、各声部の歌声や楽器の音、全体の響き、伴奏を聴いて、声や音を合わせて表現する技能、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 旋律、音の重なり、和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 和音の響きの移り変わりや音の重なりを感じ取って歌ったり演奏したり、旋律をつくったりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽・音楽づくりの学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる和音の響きや音の重なりに親しむ。	アイウ(ア)(イ)(ウ)	アイウ(ア)(イ)(ウ)	アイウ(ア)(イ)(ウ)	ア★旋律、音の重なり 和音の響き、調 ☆音楽の縦と横との 関係	①曲想と和音の響きなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。（知：歌） ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。（技：歌） ③曲想と和音の響きなどの音楽の構造との関わりについて理解している。（知：器） ④思いや意団に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能や各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。（技：器） ⑤音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。（知：づ） ⑥思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の縦と横との関係などの音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくる。（技：づ）	①旋律、音の重なり、和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて歌ったり演奏したり、旋律をつくつたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽・音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。（歌・器・づ）	◆国語科「詩の日～秋を詩で表現しよう～」 ・秋の詩をつくつて、集会で発表し合う。	
20		(1) 主な旋律と二つの副次的な旋律の歌声が重なり合う和音の響きを感じ取りながら、『星の世界』を三部合唱をする。 ・短調と長調の和音の響きの違いや旋律の重なり方の違いに気を付けて、全体の響きの移り変わりを味わしながら『雨のうた』を演奏する。 ・イ短調のIとVの和音に含まれる音の中から音を選び、4小節の旋律をつくって、二人でつなげたり重ねたりしながら、17小節の音楽をつくる。								

		<p>◎曲想の変化を楽しもう (4)</p> <p>○思い出のメロディー ♪ハンガリー舞曲 第5番</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)リズム、速度、旋律、強弱、反復、変化などを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲想の移り変わりを味わいながら、歌つたり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽がられる曲想の変化を味わう。</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア★リズム、速度、旋律 強弱、調、調 フレーズ ☆反復、変化</p> <p>・ア・イ・ウそれぞれの曲想を捉え、曲想の変化を感じ取りながらそれらの違いを生かして歌唱表現を工夫し、『思い出のメロディー』を二部合唱をする。 ・『思い出のメロディー』の学習を踏まえ、ア・イそれぞれの曲想を捉え、その変化を味わいながら『ハンガリー舞曲 第5番』を聴く。</p>	<p>①曲想と強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知:歌) ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ③曲想及びその変化と、強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。(知:鑑)</p>	<p>①リズム、旋律、強弱、フレーズを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌・鑑)</p>
		<p>◎詩と音楽との関わりを味わおう (5)</p> <p>♪花 ♪箱根八里 ♪荒城の月 ○ふるさと(共) ○われは海の子(共)</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、旋律や強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、強弱、音の重なりなどを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)歌詞と旋律との関わりが生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり歌つたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、様々な音楽にみられる詩と音楽との関わりを味わう。</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア★音色、リズム、速度、 旋律、強弱、音の重 なり、フレーズ ☆変化</p> <p>・『花』の鑑賞の学習を通して、歌詞と旋律が一体となって生まれ出す曲想を味わって聴く。これを基に『箱根八里』『荒城の月』を聴き、日本の歌のよさや美しさを味わう。 ・鑑賞の学習を踏まえ、歌詞の内容や曲想を生かして歌唱表現を工夫し、『ふるさと』『われは海の子』を歌う。</p>	<p>①曲想及びその変化と、旋律や強弱などの音楽の構造との関わりについて理解している。(知:鑑) ②曲想と旋律や強弱、音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知:歌) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ④曲想と旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知:歌) ⑤思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌)</p>	<p>①音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(歌・鑑)</p>	
		<p>◎日本や世界の音楽に親しもう (3)</p> <p>○越天楽今様(共) ♪雅楽『越天楽』 ♪世界の国々の音楽</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2)音色、リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本古くから伝わる歌の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、日本や世界の音楽や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)日本や世界の音楽の特徴を感じ取りながら歌つたり聴いたりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア★音色、リズム、旋律 音の重なり</p> <p>・日本に古くから伝わる、雅楽『越天楽』を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取りながら歌唱表現を工夫して、『越天楽今様』を歌う。 ・様々な国の合奏の音楽を鑑賞し、それぞれの国の音楽の特徴やよさに気付いて、親しんで聴く。</p>	<p>①雅楽『越天楽』の曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。(知:鑑) ②「越天楽今様」の曲想と音色や旋律などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌う技能や、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ③世界の音楽の曲想及びその変化と、音色や旋律などの音楽の構造との関わりについて理解している。(知:鑑)</p>	<p>①音色、旋律を聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、雅楽の演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。(歌・鑑)</p>	
3 学 期 14	大会授業	<p>◎わたしたちの『このみち』を表現しよう (6)</p> <p>○このみち ♪この道</p>	<p>(1)曲想及びその変化と、音色、旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2)旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい音色や強弱などの表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3)曲や演奏のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫したりする学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞や歌唱の学習活動に取り組み、日本語の歌曲に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア★音色、旋律 強弱 ☆反復、変化</p> <p>・歌詞の内容や曲の特徴、演奏者の工夫に気付きながら『この道』の二つの演奏を聴き比べて、歌詞のよさや面白さを味わう。 ・『この道』の学習を踏まえ、歌詞の内容や旋律の特徴、曲想を生かして歌唱表現を工夫し、『このみち』の二部合唱をする。</p>	<p>①曲想及びその変化と、音色、旋律、強弱などの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知:歌・鑑) ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ③思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌)</p>	<p>①音色、強弱などを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。(歌・鑑)</p>	
		<p>◎音楽で思いを伝えよう (8)</p> <p>○旅立ちの日に ●情熱大陸</p> <p>○君が代(共)</p>	<p>(1)曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、歌唱や器楽の技能を身に付ける。 (2)音色、旋律、強弱、音の重なり、フレーズなどを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3)曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、音楽で思いを伝える活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組み、聴き手を意識して音楽表現に取り組む態度を養う。</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア イ ウ(イ) (イ)</p> <p>ア イ ウ(イ) (イ)</p>	<p>ア★音色、旋律 強弱、音の重なり フレーズ ☆呼びかけとこたえ</p> <p>・これまでの歌唱の学習の成果を生かし、歌詞の内容や旋律の音の動きに着目しながら歌唱表現を工夫して、二部合唱をする。 ・これまでの器楽合奏の学習の成果を生かし、旋律の音の動きや重なり方の違いに着目しながら器楽表現を工夫して、合奏をする。 ・これまでの学習の成果を生かして、自分の思いや願いを込めて曲の特徴にふさわしい歌唱表現を工夫して二部合唱をする。</p>	<p>①曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知:歌) ②思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。(技:歌) ③曲想と旋律や音の重なりなどの音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範奏を聴いたり、イントロ及び長調の楽譜を見たりして演奏する技能を身に付けて演奏している。(技:器)</p>	<p>①音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌) ②音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい音色や強弱などの表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌) ③旋律、強弱、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取りそれらの動きが生み出されよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。(歌)</p>	

◆キャリア教育「作曲者と交流し、将来に夢や希望をもつ」
・作曲者と交流し、思いや意図を知ることを通して、自己の将来について希望や夢をもつ。

◆国語科「詩の日～詩で冬を表現しよう～」
・冬の詩をつくって、集会で発表し合う。

◆キャリア教育「中学校進学に向けて希望をもつ」
・金子みすゞ「このみち」、自作の詩「このみち」を通して、中学校進学に向けた意識を深める。

◆特別活動「卒業を前に、小学校生活を振り返り、感謝を伝えよう」
・謝恩会や6年生を送る会で在校生や先生方、保護者、お世話をこなした人に感謝を伝える。